霧島市立医師会医療センター
薬剤部 DI ニュース
No. 299
2022年10月

～服用方法が特徴的な薬について～

院内採用の薬剤で、用法・用量が特徴的な薬についていくつかまとめてみました。
薬によっては食事の影響で吸収が低下してしまうものがあります。また、同じ効果を持つ薬でも投与間隔が異なるものがあるので、正しいタイミングで投与できるようにしましょう。

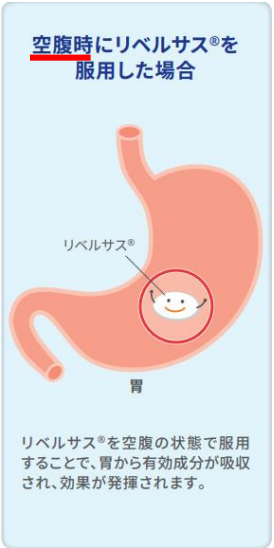
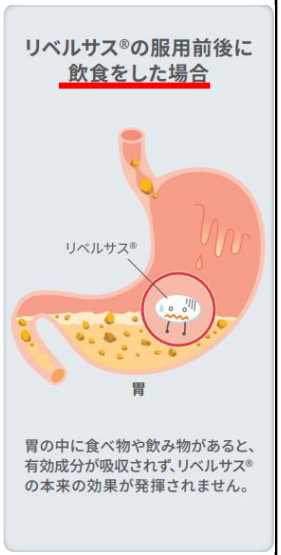
◎骨・カルシウム代謝薬

※**太字**で示したものが院内採用の薬剤名です

分類	薬剤名（成分名）	用法・用量、注意点など
ビスホスホネート製剤 **（BP製剤）** リセドロン酸Na錠、ミノドロン酸錠は**起床時**にコップ一杯の水（**約180mL**）で服用し、服用後**30分**は**横にならず**、飲食（水を除く）、他薬の経口摂取は避ける。 **※院内採用のリセドロン酸Na錠とミノドロン酸錠では投与間隔が異なるので注意！**	ベネット錠、アクトネル錠 **（リセドロン酸Na錠）**	骨粗鬆症に対して、17.5mgを**週**1回
	リカルボン錠、ボノテオ錠 **（ミノドロン酸錠）**	50mgを**4週**に1回
	ゾメタ点滴静注 **（ゾレドロン酸点滴静注）**	悪性腫瘍による高Ca血症 ：**1週間間隔** 多発性骨髄腫、骨転移 ：**3～4週間間隔** ※**15分**かけて点滴静注する

◎糖尿病治療薬

分類	薬剤名（成分名）	用法・用量、注意点など
α-グルコシダーゼ阻害薬 **（α-GI）**	グルコバイ錠 **（アカルボース錠）** ベイスン錠 **（ボグリボースOD錠）**	1日3回食**直前** ※低血糖時は砂糖ではなく**ブドウ糖**を補給
速効型インスリン分泌促進薬	シュアポスト錠 **（レパグリニド錠）** 	1日3回食**直前**（**10分以内**） ※食事の30分以上前の投与で**低血糖誘発**の恐れあり ※食後では速やかな吸収が得られず、効果が減弱する
インスリンアナログ製剤 **（超速効型）**	**ヒューマログ注** （インスリンリスプロ）	毎食**直前**（**15分以内**）
GLP-1受容体作動薬	**ビクトーザ皮下注** （リラグルチド）	**1日**1回皮下注
	トルリシティ皮下注 （デュラグルチド）	**週1回**、**同一曜日**に皮下注
患者限定のお薬です	**オゼンピック皮下注** （セマグルチド）	

7mg錠は患者限定です	**リベルサス錠** （セマグルチド） 3mg錠 ✂ リベルサスは光や湿気に弱いお薬です。 シートで湿気から薬を守っているため、**ミシン目以外の場所**では**切らないように**しましょう。 	1日の最初の食事、飲水前にコップ約半分の水（**約120mL以下**）で服用（少なめの水）。服用後**30分**は飲食、他の薬の服用を避ける。   ※分割・粉砕やかみ砕いての服用は× ※14mg投与の場合は**7mg錠を2錠投与は**×

◎睡眠薬

※その他の睡眠薬は添付文書上、就寝前です

分類	薬剤名（成分名）	用法・用量、注意点など
非ベンゾジアゼピン系睡眠薬 **（超短時間型）**	マイスリー錠 **（ゾルピデムOD錠）** 	1回5～10mg、就寝**直前** 高齢者には1回**5mg**から開始 1日**10mg**まで ※処方日数は**30日**まで ※**閉塞隅角緑内障**に禁忌
オレキシン受容体拮抗薬	**デエビゴ錠** （レンボレキサント） 	1日1回5mg、就寝**直前** 1日1回**10mg**を超えない
患者限定のお薬です	**ベルソムラ錠** （スボレキサント） 	1日1回20mg、就寝**直前** 高齢者：1日1回**15mg** ※入眠効果の発現が遅れる恐れがあるため、食事と同時、食直後の服用は避ける ※**クラリスロマイシン**、**リトナビル**、**ボリコナゾール**、**イトラコナゾール**と併用禁忌

◎慢性便秘症治療薬

どちらも食後服用で下痢の恐れあり

分類	薬剤名（成分名）	用法・用量、注意点など
上皮機能変容薬	**リンゼス錠** （リナクロチド）	1日1回**食前** ※便秘型過敏性腸症候群にも適応あり
胆汁酸トランスポーター阻害薬	**グーフィス錠** （エロビキシバット）	1日1回10mg**食前** 1日1回**15mg**まで

〈参考文献〉
・今日の治療薬２０２２
・リベルサス錠製品情報サイト
・各添付文書

霧島市立医師会医療センター　薬剤部
実習生：樋脇
指導薬剤師：池沢